

設置届の場合

様式第9号（第37条関係）

該当するもの以外は
二重線で消して
ください

指定炭化水素類発生施設（使用施設に限る。）
設 置 （ ~~使 用 、 変 更~~ ） 届 出 書

提出日を記載してください

該当する環境管理事務所名又は市名を記載してください
（管轄はパンフレットを参照してください）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

（宛先）

埼玉県〇〇〇環境管理事務所長

押印の必要はありません

届出者 〒330-9301

さいたま市浦和区高砂〇—〇〇—〇

〇〇印刷株式会社

代表取締役社長 埼玉次郎

（電話番号 048-〇〇〇-××××）

該当するもの以外は二重線で消してください

埼玉県生活環境保全条例第52条第1項（~~第53条第1項、第54条第1項~~）の
規定により、指定炭化水素類発生施設（使用施設に限る。）について、次のとお
り届け出ます。

施設を設置する工場名、支店名、ビル名等を
記載してください

工場又は事業場の名称	〇〇印刷(株) ××工場	※ 整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 ◇◇市〇〇1-2-3	※受理年月日	年 月 日
使用施設の種別及び 構造、炭化水素類等又 は炭化水素類等に含 まれる揮発性物質の 最大の使用量並びに 気化した炭化水素類 の排出の抑制方法	別紙1から3までの とおり。	※ 施 設 番 号	
		※ 審 査 結 果	
		※ 備 考	

備考 1 変更の届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後
の内容を対照させること。

2 ※印の欄には、記載しないこと。

3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除
き、日本産業規格A4とすること。

別紙 1

使 用 施 設

工場又は事業場における 施 設 番 号	1 号機	2 号機
施 設 の 種 類	印刷の用に供する施設	印刷の用に供する施設
名 称 及 び 型 式	6 色印刷機	6 色印刷機
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
着 手 予 定 年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
炭 化 水 素 類 等 の 最 大 の 使 用 量 (kg/日)	9 0 0	9 0 0
炭化水素類等に含まれる揮発性 物質の最大の使用量 (kg/月)	2 0 , 0 0 0	2 0 , 0 0 0
気 化 し た 炭 化 水 素 類 の 排 出 の 抑 制 の 方 法	活性炭吸着濃縮装置設置	活性炭吸着濃縮装置設置
製 品 の 主 な 種 類	包装材料	包装材料
参 考 事 項	別紙 1 が複数枚にわたる場合は全て合算した 値をいずれか 1 枚にご記入ください	

工場又は事業場における使用施設で使用する 炭化水素類等の最大の使用量の合計 (kg/日)	1 , 8 0 0
工場又は事業場における使用施設で使用する 炭化水素類等に含まれる揮発性物質の最大の使用量の合計 (kg/月)	4 0 , 0 0 0

- 備考 1 「施設の種類」の欄には、埼玉県生活環境保全条例施行規則別表第 3 に掲げる号番号及び名称を記載すること。
- 2 設置の届出の場合には「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、使用の届出の場合には「設置年月日」の欄に、変更の届出の場合には「設置年月日」、「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、それぞれ記載すること。
- 3 使用施設において発生する気化した炭化水素類を処理するための設備を設置する場合にあっては、別紙 2 を添付すること。

別紙 2

使用施設において発生する気化した
炭化水素類を処理するための設備

工場又は事業場における 設 備 番 号	0 1	
処理に係る使用施設の 施 設 番 号 及 び 名 称	1 号機及び 2 号機	
処 理 設 備 の 種 類 、 名 称 及 び 型 式	濃縮・蓄熱燃焼による 分解処理施設	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
着 手 予 定 年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
気化した揮発性物質の 処理設備への導入方法	処理ファンによる吸引	
除 去 効 率 (%)	9 0	
回収する揮発性物質の 処 分 等 の 方 法	吸着濃縮方式及び蓄熱燃焼方式	
参 考 事 項		

- 備考 1 設置の届出の場合には「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、使用の届出の場合には「設置年月日」の欄に、変更の届出の場合には「設置年月日」、「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 処理設備の構造及び主要寸法を記載した概要図並びに除去効率に係る設計計算書を添付すること。
- 3 処理設備の除去効率の算定のための揮発性物質の量の測定箇所及び測定又は算定の方法を説明する書類を添付すること。

別紙 3

工場又は事業場における原材料に含まれる揮発性物質の大気中への年間排出量等の計画

枠が足りない場合は適宜表を拡大
もしくは複製してご記入ください。

1 使用施設で使用する炭化水素類等（炭化水素類又は炭化水素類含有物）の年間使用量等

使用施設等 施設番号 及び名称	炭化水素類及び炭化水素類含有物						揮発性物質	
	種類	a 年間の購入量 (kg)	在庫量 (kg)		d 年間の気化した 揮発性物質を回収 し再使用する量 (kg)	e 年間使用量 (kg) ($e = a + b - c + d$)	f 含有率 (%)	g 年間使用量 (kg) ($g = e \times f \div 100$)
			b 年間当初	c 年間末				
1号機	インキ	50,000	4,500	6,000	0	48,500	70	33,950
	溶剤	100,000	1,500	1,800	0	97,000	100	97,000
2号機	インキ	50,000	4,500	6,000	0	48,500	70	33,950
	溶剤	100,000	1,500	1,800	0	97,000	100	97,000
合 計						① 291,000		② 261,900

備考 比重を用いて量をリットルからキログラムに換算する場合は、原則として温度20度の比重値（小数点以下第2位切捨て）を用いること。

2 工場又は事業場で使用する低揮発性原材料の年間使用量等

使用施設等 施設番号 及び名称	低揮発性原材料						揮発性物質	
	種類	a 年間の購入量 (kg)	在庫量 (kg)		d 年間の気化した 揮発性物質を回収 し再使用する量 (kg)	e 年間使用量 (kg) ($e = a + b - c + d$)	f 含有率 (%)	g 年間使用量 (kg) ($g = e \times f \div 100$)
			b 年間当初	c 年間末				
なし								
合 計						③		④

該当するものが無ければ空欄や斜線等で差し支えありません。

備考 1 比重を用いて量をリットルからキログラムに換算する場合は、原則として温度20度の比重値（小数点以下第2位切捨て）を用いること。

2 「使用施設等の施設番号及び名称」の欄には、使用施設及び使用施設以外の塗装、印刷又は接着の用に供する施設の施設番号を重複しないように記載すること。

3 使用施設において発生する気化した炭化水素類を処理するための設備による年間分解量等

処 理 設 備 の 設 備 番 号 及 び 名 称	処 理 に 係 る 使 用 施 設 等			年 間 の 気 化 し た 揮 発 性 物 質 の 除 去 量 等				
	施 設 番 号 及 び 名 称	年間の発生する気化 した揮発性物質の量 (kg)	処理設備へ導入する 気化した揮発性物質 の 量 (kg)	処 理 設 備 の 除 去 効 率 (%)	酸 化 、 分 解 等 を す る 量 (kg)	回 収 す る 量 (kg)		回 収 す る 揮 発 性 物 質 の 種 類
						再 使 用 す る 量	そ の 他 の 量	
濃縮・蓄熱 燃焼処理施設	1号機	130,950	110,500	90	99,450	0	0	なし
	2号機	130,950	110,500	90	99,450	0	0	なし
合 計					⑤ 198,900	⑥ 0	⑦ 0	

4 使用する原材料から製品となり、焼却され、又は密閉した容器に収納される揮発性物質の年間量

処 理 設 備 の 設 備 番 号 及 び 名 称	使 用 す る 原 材 料 の 種 類	年間の使用する原材料に 含まれる揮発性物質の量 (kg)	製品となる揮発性物質の量 (kg)	焼却される揮発性物質の量 (kg)	密 閉 し た 容 器 に 収 納 さ れ る 揮 発 性 物 質 の 量 (kg)
合 計			⑧	⑨	⑩

5 工場又は事業場における原材料に含まれる揮発性物質の大気中への年間排出量等

⑪ 原材料の年間使用料 (kg) (⑪=①+③)	⑫ 原材料に含まれる揮発性 物質の年間排出量 (kg) (⑫=②+④)	⑬ 原材料に含まれる揮発性 物質の大気中への年間 排出量 (kg) (⑬=⑫-⑤-⑥-⑦-⑧ -⑨-⑩)	埼 玉 県 生 活 環 境 保 全 条 例 施 行 規 則 別 表 第 5 第 2 号 の 規 定 に よ り 算 定 さ れ る 値	
			Aの値 (%) (⑬÷⑪×100)	Bの値 (%) (⑬÷⑫×100)
⑪ 291,000	⑫ 261,900	⑬ 63,000	21.6	24.1

使用届の場合

様式第9号（第37条関係）

該当するもの以外は
二重線で消して
ください

指定炭化水素類発生施設（使用施設に限る。）

~~設置~~（使用、~~変更~~）届出書

提出日を記載してください

該当する環境管理事務所名又は市名を記載してください
（管轄はパンフレットを参照してください）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

（宛先）

埼玉県〇〇〇環境管理事務所長

押印の必要はありません

届出者 〒330-9301

さいたま市浦和区高砂〇—〇〇—〇

〇〇印刷株式会社

代表取締役社長 埼玉次郎

（電話番号 048-〇〇〇-××××）

該当するもの以外は二重線で消してください

埼玉県生活環境保全条例~~第52条第1項~~（第53条第1項、~~第54条第1項~~）の規定により、指定炭化水素類発生施設（使用施設に限る。）について、次のとおり届け出ます。

施設を設置する工場名、支店名、ビル名等を
記載してください

工場又は事業場の名称	〇〇印刷(株) ××工場	※ 整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 ◇◇市〇〇1-2-3	※ 受 理 年 月 日	年 月 日
使用施設の種別及び 構造、炭化水素類等又 は炭化水素類等に含 まれる揮発性物質の 最大の使用量並びに 気化した炭化水素類 の排出の抑制方法	別紙1から3までの とおり。	※ 施 設 番 号	
		※ 審 査 結 果	
		※ 備 考	

備考 1 変更の届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

2 ※印の欄には、記載しないこと。

3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙 1

使 用 施 設

工場又は事業場における 施 設 番 号	1 号機	2 号機
施 設 の 種 類	印刷の用に供する施設	印刷の用に供する施設
名 称 及 び 型 式	6 色印刷機	6 色印刷機
設 置 年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
炭 化 水 素 類 等 の 最 大 の 使 用 量 (kg/日)	9 0 0	9 0 0
炭化水素類等に含まれる揮発性 物質の最大の使用量 (kg/月)	2 0 , 0 0 0	2 0 , 0 0 0
気 化 し た 炭 化 水 素 類 の 排 出 の 抑 制 の 方 法	活性炭吸着濃縮装置設置	活性炭吸着濃縮装置設置
製 品 の 主 な 種 類	包装材料	包装材料
参 考 事 項	別紙 1 が複数枚にわたる場合は全て合算した 値をいずれか 1 枚にご記入ください	

工場又は事業場における使用施設で使用する 炭化水素類等の最大の使用量の合計 (kg/日)	1 , 8 0 0
工場又は事業場における使用施設で使用する 炭化水素類等に含まれる揮発性物質の最大の使用量の合計 (kg/月)	4 0 , 0 0 0

- 備考 1 「施設の種類」の欄には、埼玉県生活環境保全条例施行規則別表第 3 に掲げる号番号及び名称を記載すること。
- 2 設置の届出の場合には「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、使用の届出の場合には「設置年月日」の欄に、変更の届出の場合には「設置年月日」、「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、それぞれ記載すること。
- 3 使用施設において発生する気化した炭化水素類を処理するための設備を設置する場合にあっては、別紙 2 を添付すること。

別紙 2

使用施設において発生する気化した
炭化水素類を処理するための設備

工場又は事業場における 設 備 番 号	0 1	
処理に係る使用施設の 施 設 番 号 及 び 名 称	1 号機及び 2 号機	
処 理 設 備 の 種 類 、 名 称 及 び 型 式	濃縮・蓄熱燃焼による 分解処理施設	
設 置 年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
気化した揮発性物質の 処理設備への導入方法	処理ファンによる吸引	
除 去 効 率 (%)	9 0	
回収する揮発性物質の 処 分 等 の 方 法	吸着濃縮方式及び蓄熱燃焼方式	
参 考 事 項		

- 備考 1 設置の届出の場合には「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、使用の届出の場合には「設置年月日」の欄に、変更の届出の場合には「設置年月日」、「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 処理設備の構造及び主要寸法を記載した概要図並びに除去効率に係る設計計算書を添付すること。
- 3 処理設備の除去効率の算定のための揮発性物質の量の測定箇所及び測定又は算定の方法を説明する書類を添付すること。

別紙 3

工場又は事業場における原材料に含まれる揮発性物質の大気中への年間排出量等の計画

枠が足りない場合は適宜表を拡大
もしくは複製してご記入ください。

1 使用施設で使用する炭化水素類等（炭化水素類又は炭化水素類含有物）の年間使用量等

使用施設等 施設番号 及び名称	炭化水素類及び炭化水素類含有物						揮発性物質	
	種類	a 年間の購入量 (kg)	在庫量 (kg)		d 年間の気化した 揮発性物質を回収 し再使用する量 (kg)	e 年間使用量 (kg) (e = a + b - c + d)	f 含有率 (%)	g 年間使用量 (kg) (g = e × f ÷ 100)
			b 年間当初	c 年間末				
1号機	インキ	50,000	4,500	6,000	0	48,500	70	33,950
	溶剤	100,000	1,500	1,800	0	97,000	100	97,000
2号機	インキ	50,000	4,500	6,000	0	48,500	70	33,950
	溶剤	100,000	1,500	1,800	0	97,000	100	97,000
合 計						③ 291,000		④ 261,900

備考 比重を用いて量をリットルからキログラムに換算する場合は、原則として温度20度の比重値（小数点以下第2位切捨て）を用いること。

2 工場又は事業場で使用する低揮発性原材料の年間使用量等

使用施設等 施設番号 及び名称	低揮発性原材料						揮発性物質	
	種類	a 年間の購入量 (kg)	在庫量 (kg)		d 年間の気化した 揮発性物質を回収 し再使用する量 (kg)	e 年間使用量 (kg) (e = a + b - c + d)	f 含有率 (%)	g 年間使用量 (kg) (g = e × f ÷ 100)
			b 年間当初	c 年間末				
なし								
合 計						③		④

該当するものが無ければ空欄や斜線等で差し支えありません。

備考 1 比重を用いて量をリットルからキログラムに換算する場合は、原則として温度20度の比重値（小数点以下第2位切捨て）を用いること。

2 「使用施設等の施設番号及び名称」の欄には、使用施設及び使用施設以外の塗装、印刷又は接着の用に供する施設の施設番号を重複しないように記載すること。

3 使用施設において発生する気化した炭化水素類を処理するための設備による年間分解量等

処 理 設 備 の 設 備 番 号 及 び 名 称	処 理 に 係 る 使 用 施 設 等			年 間 の 気 化 し た 揮 発 性 物 質 の 除 去 量 等				
	施 設 番 号 及 び 名 称	年間の発生する気化 した揮発性物質の量 (kg)	処理設備へ導入する 気化した揮発性物質 の 量 (kg)	処 理 設 備 の 除 去 効 率 (%)	酸 化 、 分 解 等 を す る 量 (kg)	回 収 す る 量 (kg)		回 収 す る 揮 発 性 物 質 の 種 類
						再 使 用 す る 量	そ の 他 の 量	
濃縮・蓄熱 燃焼処理施設	1号機	130,950	110,500	90	99,450	0	0	なし
	2号機	130,950	110,500	90	99,450	0	0	なし
合 計					⑤ 198,900	⑥ 0	⑦ 0	

4 使用する原材料から製品となり、焼却され、又は密閉した容器に収納される揮発性物質の年間量

処 理 設 備 の 設 備 番 号 及 び 名 称	使 用 す る 原 材 料 の 種 類	年間の使用する原材料に 含まれる揮発性物質の量 (kg)	製品となる揮発性物質の量 (kg)	焼却される揮発性物質の量 (kg)	密 閉 し た 容 器 に 収 納 さ れ る 揮 発 性 物 質 の 量 (kg)
合 計			⑧	⑨	⑩

5 工場又は事業場における原材料に含まれる揮発性物質の大気中への年間排出量等

⑪ 原材料の年間使用料 (kg) (⑪=①+③)	⑫ 原材料に含まれる揮発性 物質の年間排出量 (kg) (⑫=②+④)	⑬ 原材料に含まれる揮発性 物質の大気中への年間 排出量 (kg) (⑬=⑫-⑤-⑥-⑦-⑧ -⑨-⑩)	埼 玉 県 生 活 環 境 保 全 条 例 施 行 規 則 別 表 第 5 第 2 号 の 規 定 に よ り 算 定 さ れ る 値	
			Aの値 (%) (⑬÷⑪×100)	Bの値 (%) (⑬÷⑫×100)
⑪ 291,000	⑫ 261,900	⑬ 63,000	21.6	24.1

変更届の場合

様式第9号（第37条関係）

該当するもの以外は
二重線で消して
ください

指定炭化水素類発生施設（使用施設に限る。）

~~設置（使用、変更）届出書~~

提出日を記載してください

該当する環境管理事務所名又は市名を記載してください
（管轄はパンフレットを参照してください）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

（宛先）

埼玉県〇〇〇環境管理事務所長

押印の必要はありません

届出者 〒330-9301

さいたま市浦和区高砂〇—〇〇—〇

〇〇印刷株式会社

代表取締役社長 埼玉次郎

（電話番号 048-〇〇〇-××××）

該当するもの以外は二重線で消してください

埼玉県生活環境保全条例第52条第1項（第53条第1項、第54条第1項）の規定により、指定炭化水素類発生施設（使用施設に限る。）について、次のとおり届け出ます。

施設を設置する工場名、支店名、ビル名等を
記載してください

工場又は事業場の名称	〇〇印刷(株) ××工場	※ 整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 ◇◇市〇〇1-2-3	※ 受 理 年 月 日	年 月 日
使用施設の種別及び 構造、炭化水素類等又 は炭化水素類等に含 まれる揮発性物質の 最大の使用量並びに 気化した炭化水素類 の排出の抑制方法	別紙1から3までの とおり。	※ 施 設 番 号	
		※ 審 査 結 果	
		※ 備 考	

備考

- 1 変更の届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙 1

使 用 施 設		
	(変 更 前)	(変 更 後)
工 場 又 は 事 業 場 に お け る 施 設 番 号	1 号機	同 左
施 設 の 種 類	印刷の用に供する施設	同 左
名 称 及 び 型 式	6 色印刷機	同 左
設 置 年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
着 手 予 定 年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
炭 化 水 素 類 等 の 最 大 の 使 用 量 (kg/日)	9 0 0	同 左
炭 化 水 素 類 等 に 含 ま れ る 揮 発 性 物 質 の 最 大 の 使 用 量 (kg/月)	2 0 , 0 0 0	同 左
気 化 し た 炭 化 水 素 類 の 排 出 の 抑 制 の 方 法	活性炭吸着濃縮装置	燃焼処理装置
製 品 の 主 な 種 類	包装材料	同 左
参 考 事 項	別紙1が複数枚にわたる場合は全て合算した 値をいずれか1枚にご記入ください	

工 場 又 は 事 業 場 に お け る 使 用 施 設 で 使 用 す る 炭 化 水 素 類 等 の 最 大 の 使 用 量 の 合 計 (k g / 日)	9 0 0
工 場 又 は 事 業 場 に お け る 使 用 施 設 で 使 用 す る 炭 化 水 素 類 等 に 含 ま れ る 揮 発 性 物 質 の 最 大 の 使 用 量 の 合 計 (kg/月)	2 0 , 0 0 0

備考 1 「施設の種類」の欄には、埼玉県生活環境保全条例施行規則別表第3に掲げる号番号及び名称を記載すること。

2 設置の届出の場合には「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、使用の届出の場合には「設置年月日」の欄に、変更の届出の場合には「設置年月日」、「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、それぞれ記載すること。

3 使用施設において発生する気化した炭化水素類を処理するための設備を設置する場合にあっては、別紙2を添付すること。

別紙 2

使用施設において発生する気化した
炭化水素類を処理するための設備

(変更前)

(変更後)

工場又は事業場における 設 備 番 号	0 1	0 2
処理に係る使用施設の 施 設 番 号 及 び 名 称	1 号機	1 号機
処 理 設 備 の 種 類 、 名 称 及 び 型 式	濃縮・蓄熱燃焼による 分解処理施設	蓄熱式燃焼式脱臭装置
設 置 年 月 日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日	年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
気化した揮発性物質の 処理設備への導入方法	処理ファンによる吸引	燃焼処理装置へ導入
除 去 効 率 (%)	9 0	9 8
回収する揮発性物質の 処 分 等 の 方 法	吸着濃縮方式及び蓄熱燃焼方式	なし
参 考 事 項	廃止撤去	新規設置

- 備考 1 設置の届出の場合には「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、使用の届出の場合には「設置年月日」の欄に、変更の届出の場合には「設置年月日」、「着手予定年月日」及び「使用開始予定年月日」の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 処理設備の構造及び主要寸法を記載した概要図並びに除去効率に係る設計計算書を添付すること。
- 3 処理設備の除去効率の算定のための揮発性物質の量の測定箇所及び測定又は算定の方法を説明する書類を添付すること。

別紙 3

工場又は事業場における原材料に含まれる揮発性物質の大気中への年間排出量等の計画

枠が足りない場合は適宜表を拡大
もしくは複製してご記入ください。

1 使用施設で使用する炭化水素類等（炭化水素類又は炭化水素類含有物）の年間使用量等

使用施設等 施設番号 及び名称	炭化水素類及び炭化水素類含有物					揮発性物質		
	種類	a 年間の購入量 (kg)	在庫量 (kg)		d 年間の気化した 揮発性物質を回収 し再使用する量 (kg)	e 年間使用量 (kg) ($e = a + b - c + d$)	f 含有率 (%)	g 年間使用量 (kg) ($g = e \times f \div 100$)
			b 年間当初	c 年間末				
1号機	インキ 溶剤	50,000 100,000	4,500 1,500	6,000 1,800	0 0	48,500 97,000	70 100	33,950 97,000
合計						⑤ 145,500		⑥ 130,950

備考 比重を用いて量をリットルからキログラムに換算する場合は、原則として温度20度の比重値（小数点以下第2位切捨て）を用いること。

2 工場又は事業場で使用する低揮発性原材料の年間使用量等

使用施設等 施設番号 及び名称	低揮発性原材料					揮発性物質		
	種類	a 年間の購入量 (kg)	在庫量 (kg)		d 年間の気化した 揮発性物質を回収 し再使用する量 (kg)	e 年間使用量 (kg) ($e = a + b - c + d$)	f 含有率 (%)	g 年間使用量 (kg) ($g = e \times f \div 100$)
			b 年間当初	c 年間末				
なし								
合計						③		④

該当するものが無ければ空欄や斜線等で差し支えありません。

備考 1 比重を用いて量をリットルからキログラムに換算する場合は、原則として温度20度の比重値（小数点以下第2位切捨て）を用いること。

2 「使用施設等の施設番号及び名称」の欄には、使用施設及び使用施設以外の塗装、印刷又は接着の用に供する施設の施設番号を重複しないように記載すること。

3 使用施設において発生する気化した炭化水素類を処理するための設備による年間分解量等

処 理 設 備 の 設 備 番 号 及 び 名 称	処 理 に 係 る 使 用 施 設 等			年 間 の 気 化 し た 揮 発 性 物 質 の 除 去 量 等				
	施 設 番 号 及 び 名 称	年間の発生する気化 した揮発性物質の量 (kg)	処理設備へ導入する 気化した揮発性物質 の 量 (kg)	処 理 設 備 の 除 去 効 率 (%)	酸 化 、 分 解 等 を す る 量 (kg)	回 収 す る 量 (kg)		回 収 す る 揮 発 性 物 質 の 種 類
						再 使 用 す る 量	そ の 他 の 量	
蓄熱式燃焼式 脱臭装置	1号機	130,950	110,500	98	108,290	0	0	なし
合 計					⑤ 108,290	⑥ 0	⑦ 0	

4 使用する原材料から製品となり、焼却され、又は密閉した容器に収納される揮発性物質の年間量

処 理 設 備 の 設 備 番 号 及 び 名 称	使 用 す る 原 材 料 の 種 類	年間の使用する原材料に 含まれる揮発性物質の量 (kg)	製品となる揮発性物質の量 (kg)	焼却される揮発性物質の量 (kg)	密 閉 し た 容 器 に 収 納 さ れ る 揮 発 性 物 質 の 量 (kg)
合 計			⑧	⑨	⑩

5 工場又は事業場における原材料に含まれる揮発性物質の大気中への年間排出量等

⑪ 原材料の年間使用料 (kg) (⑪=①+③)	⑫ 原材料に含まれる揮発性 物質の年間排出量 (kg) (⑫=②+④)	⑬ 原材料に含まれる揮発性 物質の大気中への年間 排出量 (kg) (⑬=⑫-⑤-⑥-⑦-⑧ -⑨-⑩)	埼 玉 県 生 活 環 境 保 全 条 例 施 行 規 則 別 表 第 5 第 2 号 の 規 定 に よ り 算 定 さ れ る 値	
			Aの値 (%) (⑬÷⑪×100)	Bの値 (%) (⑬÷⑫×100)
⑪ 145,500	⑫ 130,950	⑬ 22,660	15.6	17.3